

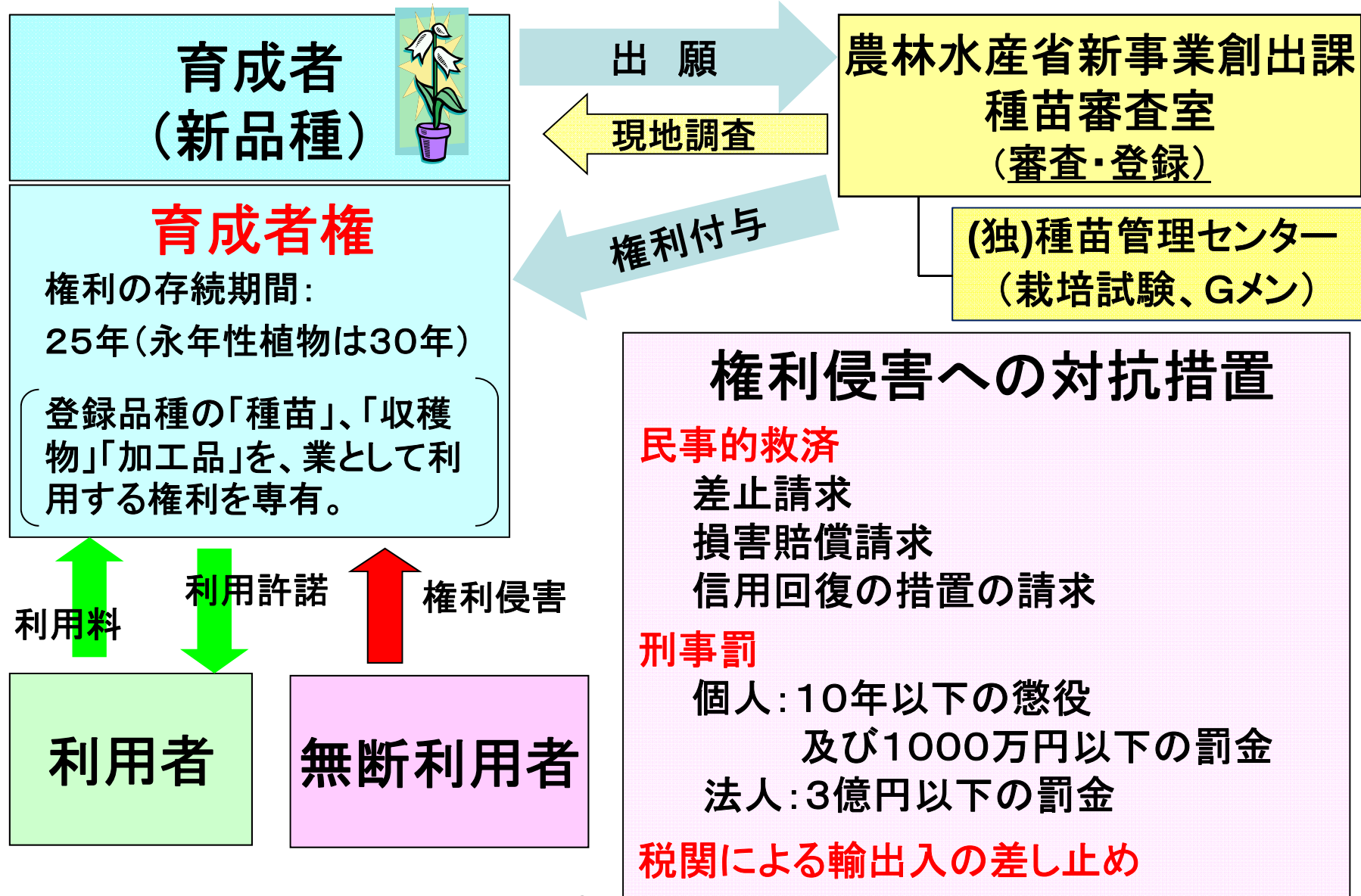
農業資材審議会
種苗分科会資料

重要な形質の見直しについて

平成25年1月31日
新事業創出課種苗審査室

品種保護制度（種苗法）の概要

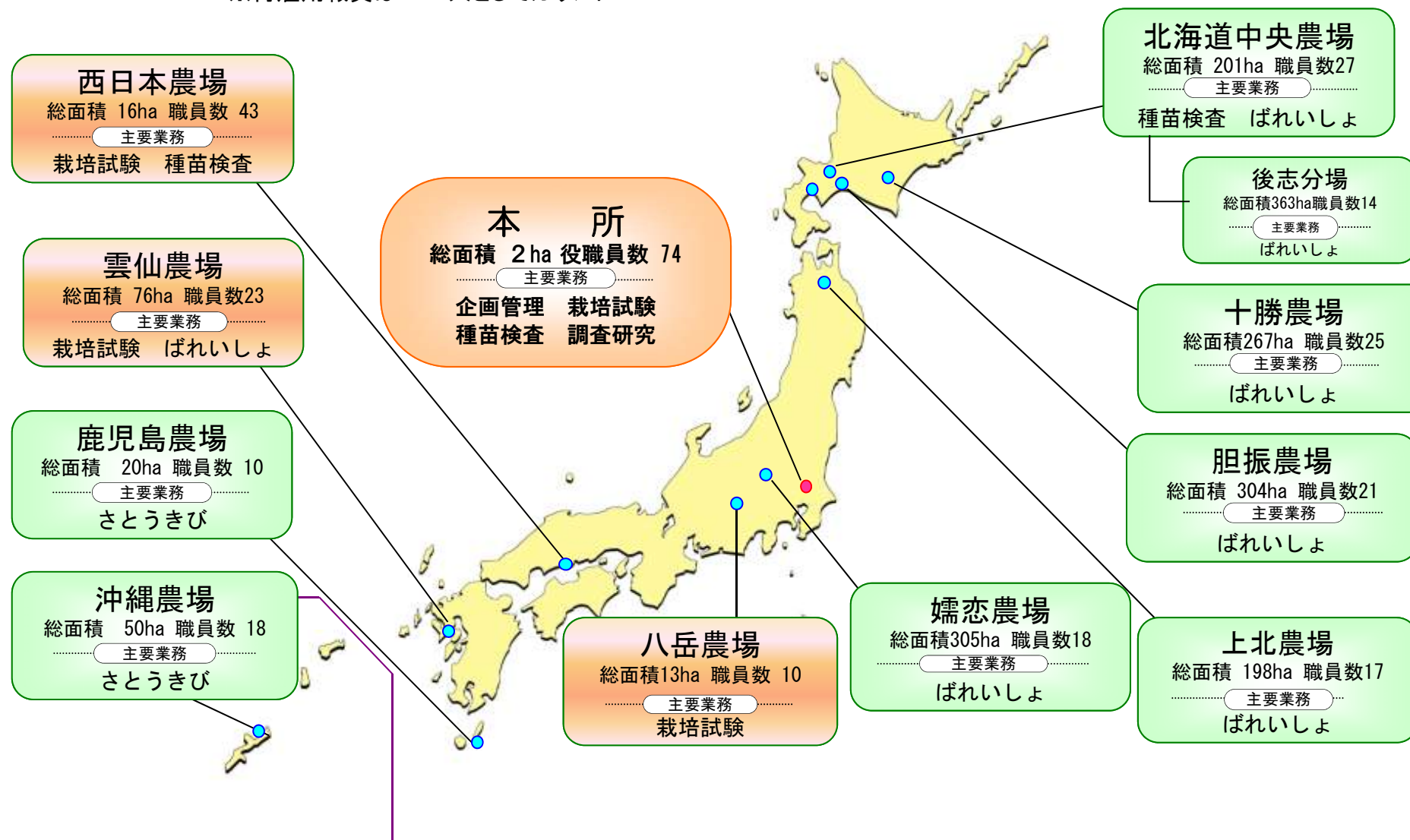
新品種の育成者への権利付与を通じて新品種の育成を振興し、農林水産業の発展に寄与



(独)種苗管理センターの農場等の配置状況

(平成24年10月1日現在 役職員数:300名)

※再雇用職員は1.0人としてカウント



保護対象植物

〔種苗法第2条第1項
種苗法施行令第1条〕

農林水産物の生産のために栽培される**全植物**

- ・種子植物
- ・した類
- ・せんたい類
- ・多細胞の藻類
- ・その他政令で指定された植物(きのこ32種)

・UPOV91年条約では、締約国はすべての植物を保護対象とすることが義務付けられている。
(78年条約では24種類以上)

品種登録の要件

(種苗法第3条、第4条)

①区別性(Distinctness)

- 国内外の公然知られた他の品種と重要な形質(形状、色、耐病性等)に係る特性(丸い、赤い、強い等)の全部又は一部によって明確に区別できること

②均一性(Uniformity)

- 同一世代でその重要な形質に係る特性の全部が十分類似していること(播いた種子から同じものができる)

③安定性(Stability)

- 増殖後も重要な形質に係る特性の全部が安定していること(何世代増殖を繰り返しても同じものができる)

④未譲渡性(Novelty)

- 日本国内において出願日から1年遡った日(外国においては、日本での出願日から4年(果樹等の永年性植物は6年)遡った日)より前に出願品種の種苗や収穫物を業として譲渡していないこと

⑤名称の適切性(Suitability of denomination)

- 品種の名称が既存の品種や登録商標と紛らわしいものでないこと等。

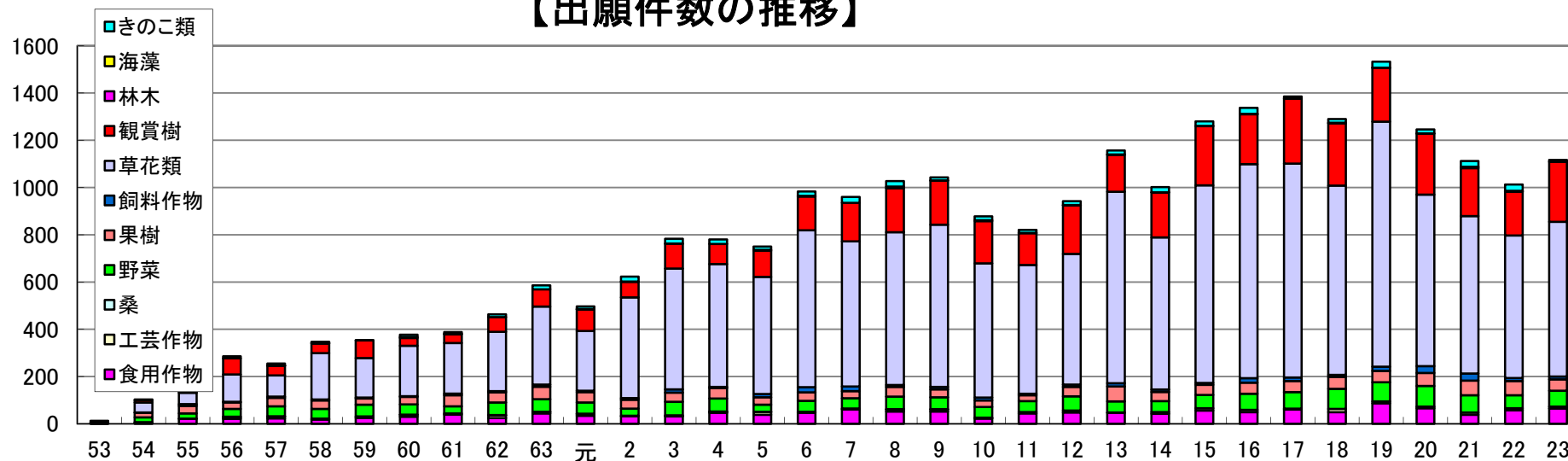
重要な形質とは

(法第2条第2項、第7項)

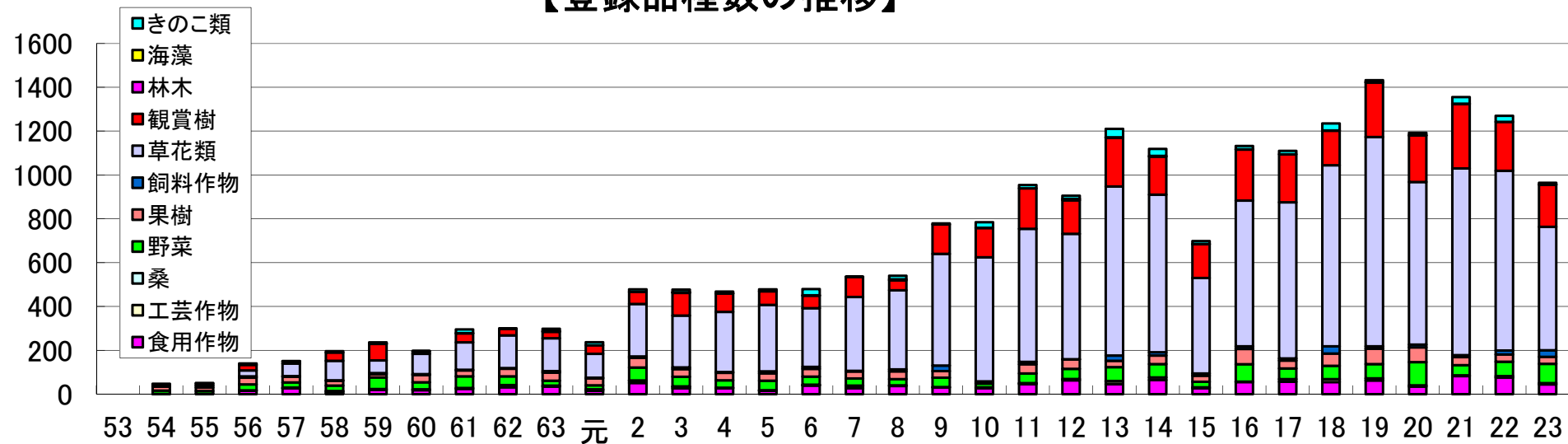
1. 重要な形質は、品種登録の要件である**区別性、均一性、安定性の審査に用いられ**、品種登録の適否を判定するための重要な要素。
2. 重要な形質以外の形質で差異があっても区別性は認められない。
3. 我が国は、UPOVの指針に基づき、「重要な形質」を具体化したものを「審査基準」として使用。

新品種の出願・登録の状況

【出願件数の推移】



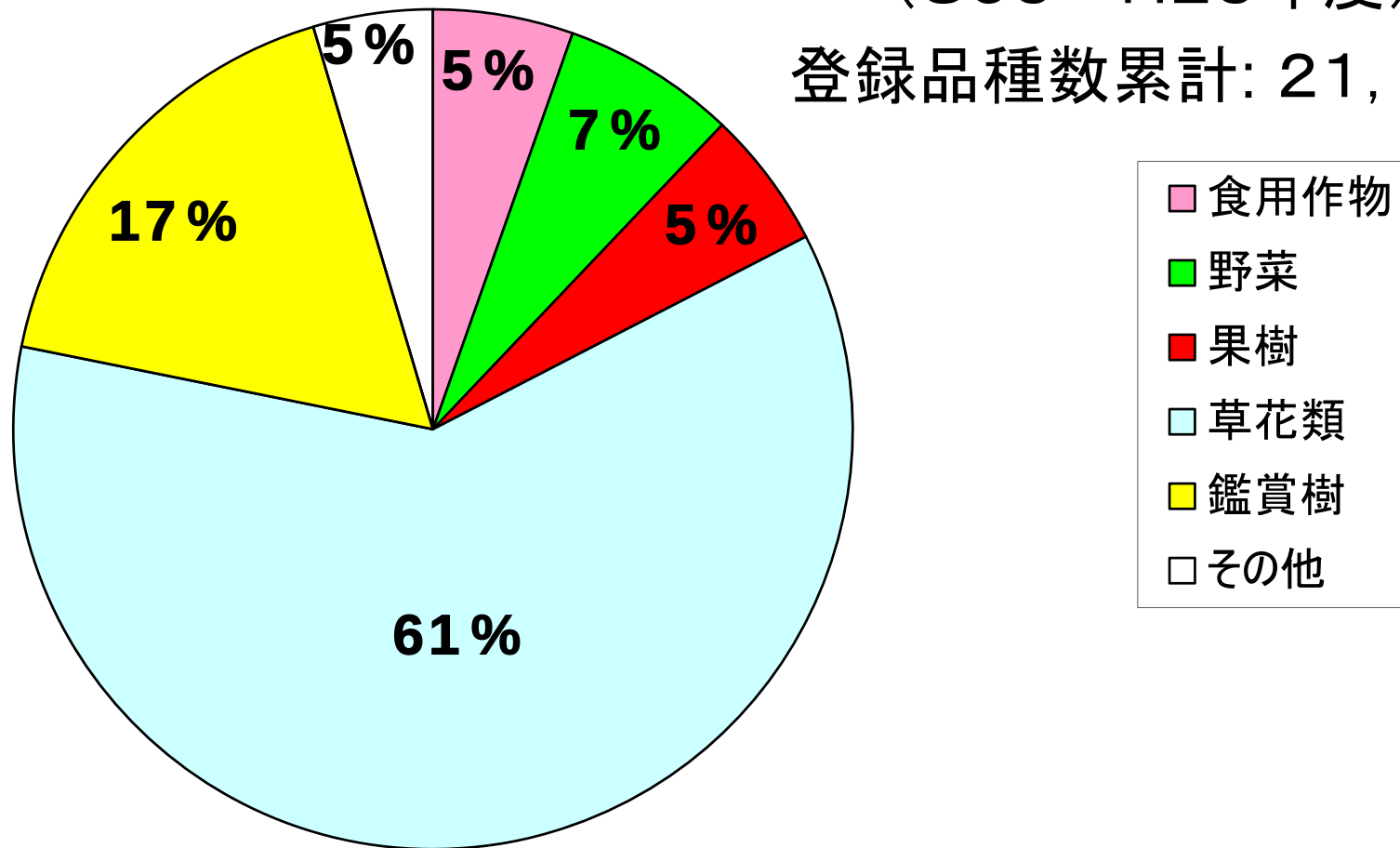
【登録品種数の推移】



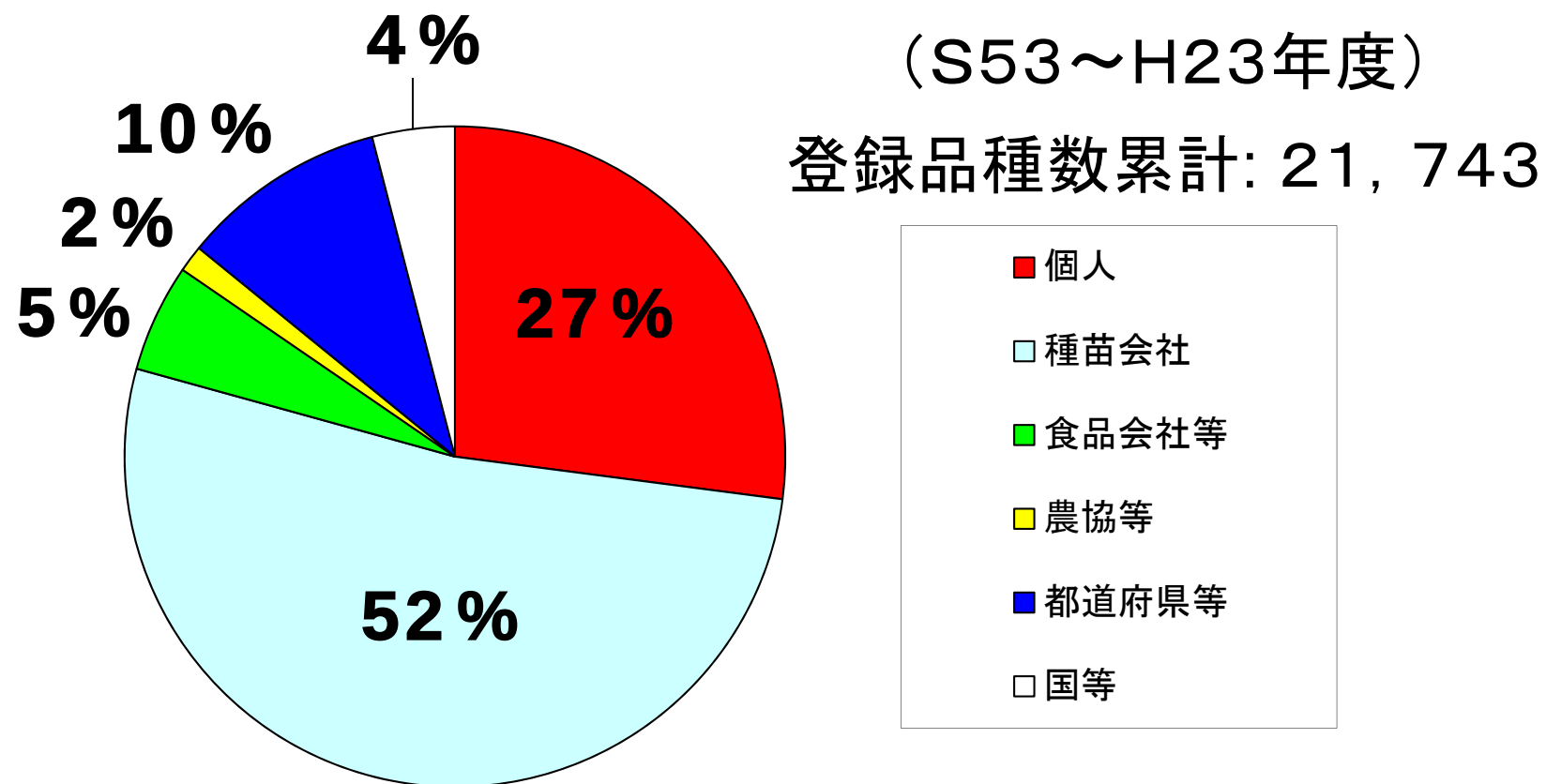
作物分野別の登録割合

(S53～H23年度)

登録品種数累計: 21,743



出願者の業種別内訳



注:①業種は、登録時点の区分である。その後の業種間の権利移転は反映していない。

②食品会社等は、その他業種の会社を含む。

③都道府県等は、市町村、公立学校を含む。

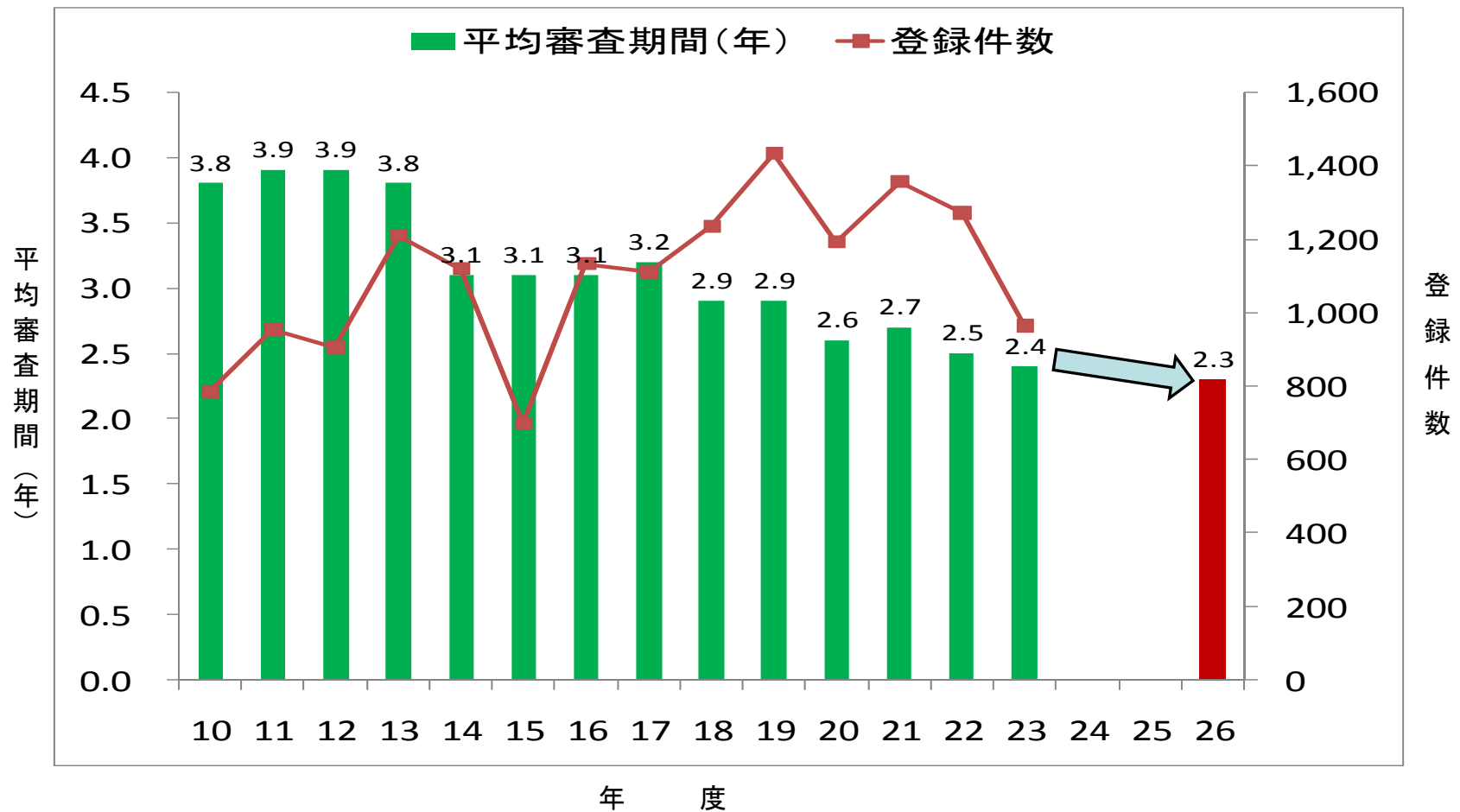
④国等は、国立学校法人、独立行政法人を含む。

作物分野別・業種別の内訳

(S53～H23年度)

	個人	種苗会社	都道府県等	国等	食品会社等	農協等	合 計
花き・鑑賞樹	5,024	10,346	706	102	613	164	16,955(78%)
食用作物	84	39	627	312	94	18	1,174(5%)
野菜	222	497	393	105	201	39	1,457(7%)
果樹	502	166	260	148	31	49	1,156(5%)
その他	52	308	207	211	209	14	1,001(5%)
合 計	5,884 (27%)	11,356 (52%)	2,193 (10%)	878 (4%)	1,148 (5%)	284 (1%)	21,743(100%)

平均審査期間の推移



政策目標: 26年度に平均2.3年に短縮

UPOV(ユポフ)条約について

正式名称: 植物の新品種の保護に関する国際条約(1968年発効)

内 容: 植物の新品種の保護に関する国際的枠組を規定

- ・締約国は、条約の枠組に沿って国内制度を整備
- ・91年条約の締約国は、10年以内に全植物を保護対象とする義務

締 約 国: 現在71カ国(EUを含む)
(WTO加盟国は153カ国)

組織体制:

理事会(C) 評議会(CC)

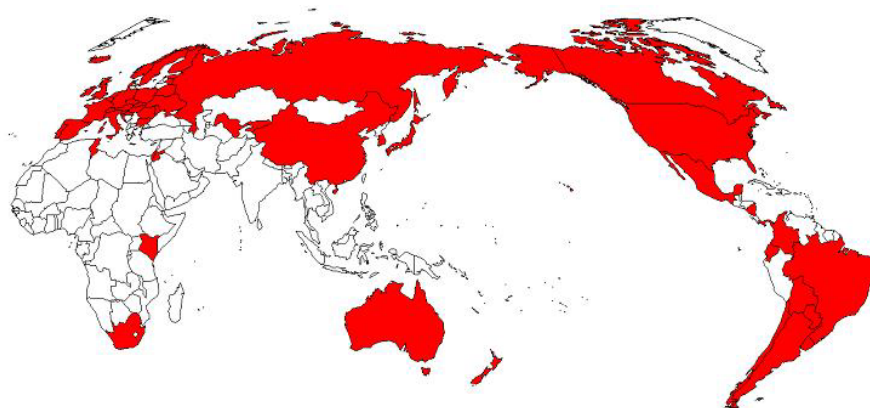
管理法律委員会(CAJ)

技術委員会(TC)

技術作業部会

- ・農作物(TWA)
- ・果樹(TWF)
- ・観賞植物及び林木(TWO)
- ・野菜(TWV)
- ・コンピュータ及び自動化(TWC)
- ・生化学及び分子技術(BMT)

各国の審査官等がテスト
ガイドラインを検討



UPOV加盟国における出願・登録の状況

2011年におけるUPOV加盟国のうち、上位10カ国

出 願

順位	国	出願数	割合
①	EU	3184	23%
②	アメリカ	1613	12%
③	中国	1255	9%
④	日本	1126	8%
⑤	ウクライナ	1095	8%
⑥	オランダ	783	6%
⑦	韓国	587	4%
⑧	ロシア	452	3%
⑨	イスラエル	402	3%
⑩	オーストラリア	330	2%
：			
：			
加盟国合計		13714	100%

登 録

順位	国	登録数	割合
①	EU	2585	26%
②	日本	1139	11%
③	アメリカ	1099	11%
④	オランダ	717	7%
⑤	ロシア	571	6%
⑥	ウクライナ	465	5%
⑦	韓国	448	4%
⑧	イスラエル	365	4%
⑨	南アフリカ	297	3%
⑩	カナダ	251	2%
：			
：			
加盟国合計		10065	100%

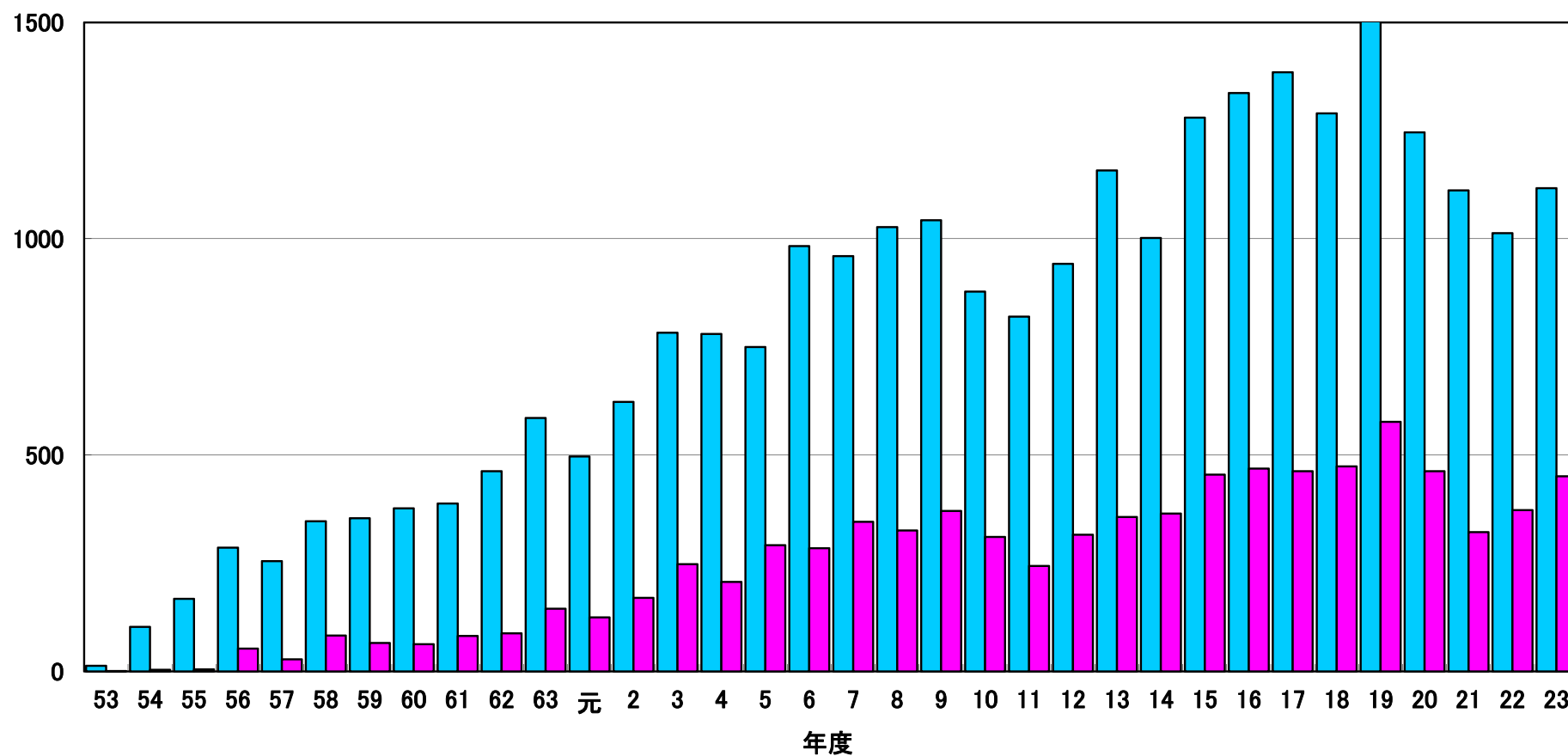
存続中の権利

順位	国	存続中の 権利数	割合
①	アメリカ	19023	20%
②	EU	18900	20%
③	日本	8163	9%
④	オランダ	5834	6%
⑤	ウクライナ	3979	4%
⑥	ロシア	3922	4%
⑦	韓国	3213	3%
⑧	中国	2780	3%
⑨	南アフリカ	2425	3%
⑩	オーストラリア	2410	3%
：			
：			
加盟国合計		94413	100%

出典：UPOV理事会資料

注：EU(27カ国)は域内共通の品種保護制度を有する。

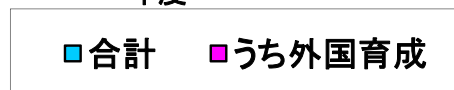
海外からの出願状況



(23年度)

出願合計: 1,117(100%)

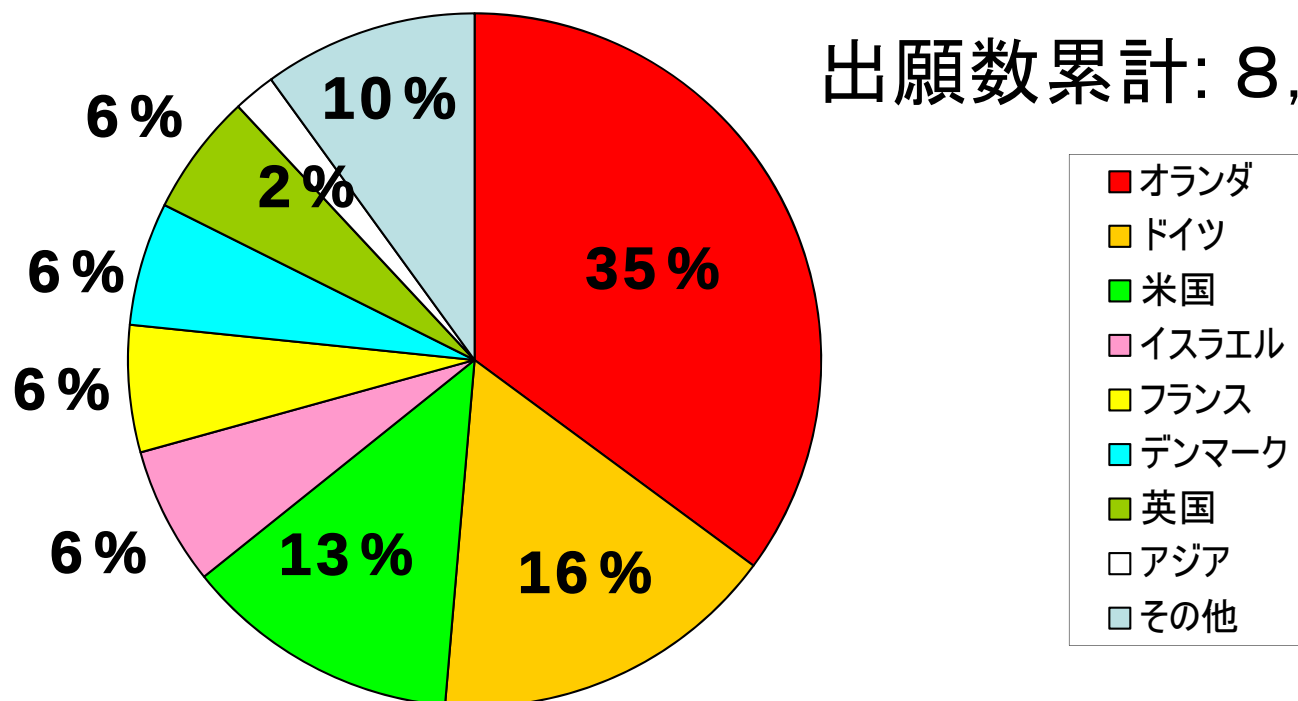
うち外国育成: 451(40%)



外国育成品種の出願状況

S53～H23年度

出願数累計: 8, 630



19年度		20年度		21年度		22年度		23年度	
①オランダ	209	①オランダ	121	①オランダ	105	①オランダ	138	①オランダ	143
②米国	100	②ドイツ	85	②ドイツ	80	②米国	44	②米国	80
③ドイツ	98	③米国	63	③米国	30	③ドイツ	34	③ドイツ	59
総数	578	総数	463	総数	322	総数	373	総数	451

国際的な審査協力

1. 目的

審査・登録業務の合理化、審査期間の短縮等のため、先願国の栽培試験結果を後願国が利用できるよう、審査基準、栽培試験方法等の調和を図っている。

2. 審査協力の実施状況

(1) EU (18年11月に合意)

対象植物: バラ(切り花)、ペチュニア、カリブラコア、キク(スプレータイプ)、バーベナ

今後、カーネーション、カランコエ等順次拡大を検討

(2) ベトナム (19年10月に合意)

対象植物: キク、バラ、(当面は、審査体制の整備、人材育成等に協力)

3. 東アジア品種保護フォーラムの設置(20年7月)

アジア地域における国際的に調和のとれた植物品種保護制度の整備を進めるため、多様な協力活動を展開

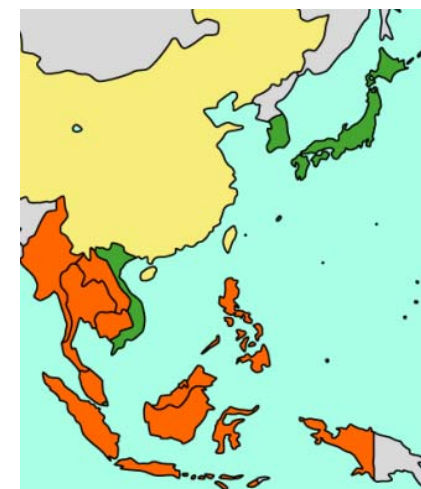
東アジア地域の植物品種保護における課題

東アジア地域は、植物品種保護制度の整備が不十分な状況

東アジアの保護制度の状況

- ① 植物品種保護の法令がない、若しくは、国内法令上は保護を謳っているが、実際の運営制度がない。
(ミャンマー、カンボジア、ラオス、ブルネイ)
- ② 植物品種保護制度が整備されていても、国際条約であるUPOV(ユポフ)条約に比べ、保護水準が低い。
(インドネシア、マレーシア、タイ、フィリピン)
- ③ UPOV条約に加盟していても、旧条約であるUPOV78年条約であり、より保護水準が高い、新条約のUPOV91年条約を締結していない。
(中国)
- ④ UPOV91年条約を締結しているが、全ての植物を保護していない、制度運営が不十分である等の問題がある。
(シンガポール、ベトナム)

《UPOV条約加盟状況》



■	UPOV91年条約
■	UPOV78年条約
■	UPOV非加盟

注1: 91年条約締約国は、加盟後10年以内に全植物を保護対象とする義務がある。

諮問についての説明

重要な形質とは

(法第2条第2項、第7項)

1. 重要な形質は、品種登録の要件である**区別性、均一性、安定性**の審査に用いられ、品種登録の適否を判定するための重要な要素。
2. 重要な形質以外の形質で差異があっても区別性は認められない。
3. 我が国では、UPOVの指針に基づき、「重要な形質」を具体化したものを「審査基準」として使用。

○UPOVの特性審査(区別性、均一性、安定性)のための一般指針

＜特性審査に用いる形質の要件＞

- ①一定の遺伝子型又はその組合せの結果発現するもの
- ②ある環境条件の下で、十分な一貫性と再現性があるもの
- ③品種間で区別性を確定できる十分な違いがあるもの
- ④詳細な定義及び認識が可能なもの
- ⑤均一性の要件を満たすもの
- ⑥安定性の要件を満たすもの

重要な形質の見直しの考え方

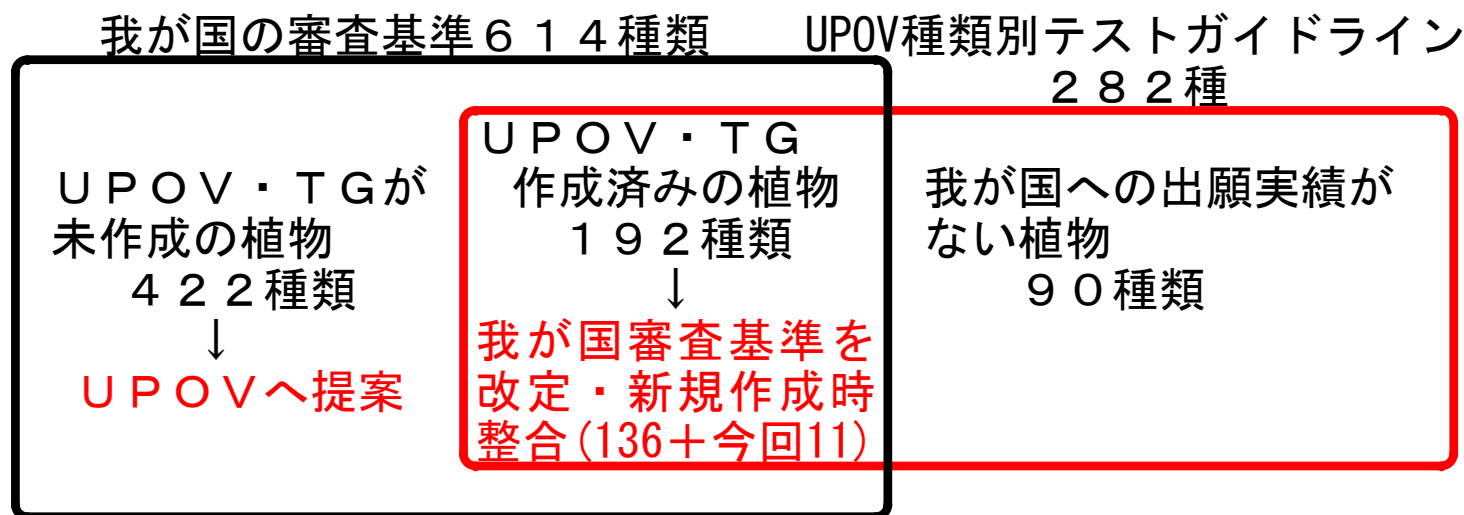
1. 審査基準の国際調和を進めるため、原則として、**UPOVテストガイドラインに準拠**して順次見直す。(20年61種類、21年18種類、22年17種類、23年19種類、24年14種類、

今回11種類)

① EU等との審査協力に当たって、UPOVテストガイドラインにない形質の追加を調整する。

② 病虫害抵抗性等、国によって必要性の異なる形質等については、実態に即して追加する。

2. UPOVテストガイドラインが未だ作成されていない植物(427種類)については、**UPOVの「特性審査のための一般指針」に沿って見直し、UPOV技術作業部会に審査基準を提案**していく。



(H24年10月末現在)

バーベナの新たな審査基準(一部抜粋)

VII. 特性表(Table of characteristics)

形質番号	UP OV 形質	記号	形質 (Characteristics)		定義	調査方法	階級	状態 (State)		標準品種 (Ex.Var)	備考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1	1 (*)	PQ G	草姿	Plant : growth habit	茎の伸び方と株全体の草型	観察	1 2 3	直立 斜上 匍匐	upright semi-upright creeping	Sunvivapa Sunmariba Sunmarirho Sunvop	
2	2 (*)	QN	株の幅	Plant : width just after the start of flowering	開花始期の株の直径	測定 cm	3 5 7	小 中 大	small medium large	Kieversil Sunver Sunvop Wynena	
3	3 (*)	QL	茎のアントシアニンの着色の有無	Stem : anthocyanin coloration (on middle third of actually growing stem)	生育盛期の茎中間部 3 分の 1 のアントシアニンの着色の有無	観察	1 9	無 有	absent present	Sunmarirho Wynena	
4	4 (*)	QN	葉身の長さ	Leaf blade : length	葉身の長さ (主な 1 次分枝の最大葉、以下同様)	測定 cm	3 5 7	短 中 長	short medium long	Sunvop Sunmaribisu Scarlana	
5	5 (*)	QN	葉身の幅	Leaf blade: width	葉身の幅	測定 cm	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	Sunmaribisu Wynena	
6	6 (*)	PQ	葉身の形	Leaf blade : shape	葉身の形	観察	1 2 3 4 5	披針形 狭楕円形 楕円形 卵形 広卵形	lanceolate narrow elliptic elliptic ovate broad ovate	Wesverdark Kieversil Lan Pureye	

G : グループ分けに使用する形質、* : 必須形質、QL : 質的形質、QN : 量的形質、PQ : 疑似の質的形質、+ : 説明図あり

形質 番号	UP OV 形質	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
14	14 (*)	QN	花序の直径	Inflorescence : diameter	開花盛期の花序の直径	測定 cm	3 5 7	小 中 大	small medium large	Blancena Scarlana	
15	15 (*)	PQ (+)	花序の形	Inflorescence : shape in profile	側面から見た開花中の花で形成されている花序の形	観察	1 2 3 4	広卵形 倒広卵形 広円筒形 狭円筒形	broad ovate broad obovate broad cylindrical narrow cylindrical	Wýnena Sunmarisu Verbena hastata	
16			花らしいの色	Flowerbud:colour (just before opening)	開花直前の花らしいの色	測定		RHSカラーチャートによる	RHS Colour Chart (indicate reference number)		
17		G	花型	Flower:type	一重八重の別	観察	1 2	一重 八重	single double		
18	16 (*)	QN (+)	花冠裂片の重なり	Flower : arrangement of corolla lobes	花冠裂片の重なり	観察	1 2 3	離れる 接する 重なる	free touching overlapping	Scarlana Sunmarisu Blancena	
19	17 (*)	QN	花冠の直径	Flower : diameter of corolla	花冠の直径	測定 mm	3 5 7	小 中 大	small medium large	Sunvop Blancena Sunmarisu Scarlana	
20	18 (*)	QL	がくのアントシアニン着色の有無	Calyx : anthocyanin coloration	がくのアントシアニン着色の有無	観察	1 9	無 有	absent present	Kieversil Lobena Scarlana	

赤枠部分の形質は、UPOV・TGには無いがEUとの調整の上、加えたもの。

形質 番号	UP OV 形質	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調 査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
33	31 (*)	PQ	花冠の目の色	Corolla : colour of eye	花冠の目の色	観察	1 2 3 4 5	緑白 黄緑 ピンク 赤 紫	whitish green green yellow pink red purple	Survivaripi Balazlavi Vertis Balazpima QuHa237V Balazdapi	
34	32	QN	花冠の色の变化	Corolla : change of colour with age	花冠展開後の花色の時間 経過による変化	観察	1 2 3 4 5	かなり薄くなる やや薄くなる 無変化 やや濃くなる かなり濃くなる る	strongly fading weakly fading no change weakly intensifying strongly intensifying	Blancena Lobena	

形質数は、現行の53を34(UPOV形質32+EUとの調整2)に整理

1. これまでに依頼のなかった植物種類について、審査 の必要上から審査基準を作成するため、区分を新設 するもの

- | | |
|-----------------|----------|
| ① ブリグハミア インシグニス | ⑩ ペピーノ |
| ② ケレウス | ⑪ ていかかずら |
| ③ つたがらくさ | |
| ④ やぶらん | |
| ⑤ はりつるまさき | |
| ⑥ すすき | |
| ⑦ ごようまつ | |
| ⑧ ローダンセマム | |
| ⑨ みかづきぐさ | |

ブリグハミア インシグニス

(学名 : Brighamia insignis A. Gray)

改 正 案	現 行
草丈、株の幅、茎の基部の太さ、茎の色、葉の長さ、葉の幅、葉の形、葉の先端の形、葉縁の反りの強弱、葉の緑色の濃淡、花冠の直径、花筒部の長さ、花筒部の色、花冠裂片の長さ、花冠裂片の幅、花冠裂片の形、花冠裂片表面の色	なし

ケレウス

(学名: Cereus Mill.)

改 正 案	現 行
株の高さ、株の幅、分枝の多少、分枝の型、茎の主な色、茎の斑の有無、茎の斑の色(斑のある品種に限る。)、稜の乱れの有無、刺座の間隔、刺座の直径、刺座の形、刺座の色、刺の有無、刺の数、刺の長さ、刺の硬さ、刺の基部の色、刺の先端の色	なし 

つたがらくさ

(学名: *Cymbalaria muralis* G. Gaertn. et al.)

改 正 案	現 行
分枝性、茎の長さ、節間長、茎のアントシアニン着色、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の厚さ、葉身の表面の緑色の濃淡(単色品種に限る。)、葉身の表面の主な色(複色品種に限る。)、葉身の表面の二次色(複色品種に限る。)、葉身の表面の三次色(複色品種に限る。)、葉身の先端の形、葉身の周縁の切れ込みの深さ、葉身の表面の毛の有無、花冠の縦径、花冠の横径、下唇弁の中央裂片の湾曲の向き、下唇弁の中央裂片の主な色、下唇弁の基部の突起の色、上唇弁の条線の有無、上唇弁の条線の色、距の色、開花期  *	なし

やぶらん

(学名: Liriope Lour.)

改 正 案	現 行
草姿、葉群の高さ、株の幅、葉の長さ、葉の幅、葉の先端の形、葉の外曲の強弱、葉の緑色の濃淡、葉の表面の斑の有無、葉の表面の斑の色(斑のある品種に限る。)、葉の表面の斑の分布(斑のある品種に限る。)、花茎の長さ、花茎の色、葉に対する花序の位置、花序の形、花序の長さ、花序の幅、花序の花の粗密、小花柄の長さ、つぼみの色、花被片の表面の色、開花期 	なし

はりつるまさき

(学名: Maytenus diversifolia (Maxim.) Ding Hou)

改 正 案	現 行
樹姿、枝の長さ、枝の太さ、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の厚さ、葉身の形、葉身の先端の形、葉身の基部の形、葉身の周縁の形、葉身の横断面の形、新葉の表面の主な色、新葉の表面の斑の有無、新葉の表面の斑の色(斑のある品種に限る。)、新葉の表面の斑の模様(斑のある品種に限る。)、葉身の表面の主な色、葉身の表面の斑の有無、葉身の表面の斑の色(斑のある品種に限る。)、葉身の表面の斑の模様(斑のある品種に限る。)、葉柄の長さ *	なし

すすき

(学名: Miscanthus Andersson)

改 正 案	現 行
草姿、草丈、葉群の高さ、茎の数、稈の長さ、節数、葉しょうのアントシアニン着色の強弱、葉身の形、葉身の反りの位置、葉身の横断面の形、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の表面の緑色の濃淡、葉身の斑の有無、葉身の斑の模様(斑のある品種に限る。)、葉身の斑の色(斑のある品種に限る。)、葉身の斑の割合(斑のある品種に限る。)、中肋の色、穂の形、穂の長さ、穂の一次枝梗の数、穂の一次枝梗の長さ、小穂の長さ(毛、芒を除く。)、小穂の毛の長さ、小穂の毛の色、ほう穎の色、芒の有無、芒の長さ、出穂期	なし 

ごようまつ

(学名: Pinus parviflora Siebold & Zucc.)

改 正 案	現 行
樹型、樹冠の形、樹高、枝の太さ、枝の着生角度、枝の着生密度、針葉束当たりの針葉の数、針葉の長さ、針葉の幅、針葉の先端の形、針葉の先端の屈曲の有無、針葉のねじれの多少、針葉の曲りの強弱、針葉の夏の主な色、針葉の斑の有無、針葉の斑の色(斑のある品種に限る。)、針葉の斑の型(斑のある品種に限る。)、針葉の冬の主な色、針葉の色の季節変化、雄花の色、雌花の色、球果の長さ、球果の幅、球果の形、球果の色、種子の長さ、種子の幅、種子の形、種子の色、種子に対する種翼の長さ、種翼の色	なし *

ローダンセマム

(学名: Rhodanthemum (Vogt) B. H. Wilcox et al.)

改 正 案	現 行
草型、草丈、株の幅、茎の太さ、節間長、節数、一次分枝の数、葉の長さ、葉の幅、葉の色、葉片の幅、葉の表面の毛の密度、花の直径、花盤の直径、花盤の主な色、舌状花の向き、舌状花の数、舌状花の形、舌状花の長さ、舌状花の幅、舌状花の表面の主な色、舌状花の表面の二次色(複色品種に限る。)、舌状花の裏面の主な色、舌状花の裏面の二次色(複色品種に限る。)、花粉の有無、開花期 	なし

みかづきぐさ

(学名: Rhynchospora Vahl)

改 正 案	現 行
草型、草高、茎の太さ、葉の長さ、葉の幅、葉の緑色の濃淡、葉の斑の有無、葉の斑の模様(斑のある品種に限る。)、葉の斑の色(斑のある品種に限る。)、花穂の幅、ほうの長さ、ほうの幅、ほうの白色部の有無、ほうの白色部の長さ、そう果の形	なし

ペピーノ

(学名: Solanum muricatum Aiton)

改 正 案	現 行
草丈、茎のアントシアニン着色の強弱、茎の毛の有無、葉の型、葉の長さ、葉の幅、葉身の形、葉身の緑色の濃淡、一花序の花の数、花の直径、花の表面の主な色、花の表面の二次色(複色品種に限る。)、未熟果の果実の色、果実の長さ、果実の直径、果実の長さ／直径、果実の縦断面の形、果実の梗あいの深さ、果実の先端の形、へたの大きさ、成熟果の果実の地色、果実の全体に占める条斑の割合、果実の条斑の色、果肉の色、果肉の硬さ、果実の可溶性固形物含量、収穫期	なし 

ていかかずら

(学名: Trachelospermum Lem.)

改 正 案	現 行
樹型、樹高、樹幅、葉身の形、葉身の先端の形、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の毛の有無、新葉のアントシアニン着色の強弱、葉身の緑色の濃淡、葉身の光沢の有無、葉身の周縁の波打ちの強弱、葉身の斑の有無、葉身の斑の主な色(斑のある品種に限る。)、葉身の斑の模様(斑のある品種に限る。)、葉身の斑の二次色(斑のある品種に限る。)、花冠裂片の向き、花の直径、花の高さ、花冠裂片の表面の主な色、花の香りの有無、開花の早晚	なし 

2. UPOVテストガイドラインに準拠した改正を行うもの

- | | |
|-----------|----------|
| ① ブーゲンビレア | ⑧ まつよいぐさ |
| ② 茶 | ⑨ セルリア |
| ③ カンナ | ⑩ トレニア |
| ④ そば | ⑪ フリーセア |
| ⑤ やまももそう | |
| ⑥ ゆり | |
| ⑦ アセロラ | |

ブーゲンビレア

(学名 : Bougainvillea Comm. ex Juss.)

改 正 案	現 行
樹姿、分枝性、新しうの色、節間長、刺の有無、刺の長さ、刺の湾曲の強弱、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の形、葉身の基部の形、葉身の主な色、葉身の二次色、葉身の二次色の分布、葉身の三次色、葉身の三次色の分布、葉身の周縁の波打ちの強弱、葉柄の長さ、花柄の長さ、花房の花序の分布、花房の花序の数、花房の花序の密度、花房の花の有無、花房のほうの型、ほうの長さ、ほうの幅、ほうの形、ほうの基部の形、ほうの先端の形、がく裂片の表面の色(花房のほうの型が一重の品種に限る。)、幼ほうの外面の主な色、若いほうの内面の主な色(がく裂片が開く前)、若いほうの内面の主な色(がく裂片が開いた時)、外側の若いほうの内面の主な色(花房のほうの型が八重の品種に限る。)、内側の若いほうの内面の主な色(花房のほうの型が八重の品種に限る。)、若いほうの内面の二次色(がく裂片が開いた時)(2色以上の品種に限る。)、若いほうの内面の二次色の分布(がく裂片が開いた時)(2色以上の品種に限る。)、若いほうの内面の三次色(がく裂片が開いた時)(3色以上の品種に限る。)、若いほうの内面の三次色の分布(がく裂片が開いた時)(3色以上の品種に限る。)、ほうの内面の主な色(がく裂片がしおれた時)	一 樹姿及び樹高 二 枝の太さ、枝の色、とげの多少、分枝性、節間長、葉形、葉の大きさ、葉色、葉の光沢、葉の毛の多少、葉柄の長さ及び葉柄の色 三 花房の大きさ、花の大きさ、ほうの形、ほうの大きさ、ほうの色、ほうの数、小花の大きさ、小花の色、小花数、花柄の長さ、一花房当たりの花数及び花の香り 四 開花期、耐寒性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 

茶

(学名: Camellia sinensis (L.) Kuntze)

改 正 案	現 行
樹勢、樹型、樹姿、分枝の粗密、枝の屈曲の有無、ほう芽期(一番茶)、一芯一葉期、一芯三葉期の第三葉の色、新芽の毛じの有無、新芽の毛じの粗密、新芽の葉柄基部のアントシアニン着色の有無、一芯三葉期の新芽長、摘採期(一番茶)、摘採期の茶芽の芽数、枝条の太さ、葉の着生角度、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の形、葉身の緑色の濃淡、葉身の横断面の形、葉身の表面のしわの強弱、葉身の先端の形、葉の周縁部の波打ちの強弱、葉の周縁部の鋸歯の強弱、葉身の基部の形、開花期、花柄の長さ、がくの外面の毛じの有無、がくの外面のアントシアニン着色の有無、花の直径、内花弁の色、子房の毛じの有無、子房の毛じの粗密、花柱の長さ、花柱の分岐点の位置、雄ずいに対する柱頭の位置、発酵性、カフェイン含量	一 樹姿、樹勢、株張り、幹径及び葉層の厚さ 二 摘採期の茶芽のそろい、摘採期の茶芽の大きさ、摘採期の茶芽の芽数、摘芽長、摘芽茎の太さ、摘芽の本葉の開葉数及び摘芽の百芽重 三 新葉の形、新葉の大きさ、新葉の厚さ、新葉の色、新葉の光沢、新葉の葉質、新葉の芽の毛じの多少及び新葉の芽の毛じの大きさ 四 成葉の形、成葉の大きさ、成葉の厚さ、成葉の色、成葉の光沢、成葉面のしわ、成葉の葉縁の波、成葉の内折度及び成葉の反転度 五 分枝数、枝条の節間長及び枝条の太さ 六 ほう芽期、摘採期、挿し木発根性、収量性、製品の外観、製品の内質、製品の化学成分、耐寒性、病害抵抗性及び虫害抵抗性



カンナ

(学名: Canna L.)

改 正 案	現 行
開花始期の草丈、草姿、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の光沢、葉脈の色、葉身の主な色、葉身の二次色(葉脈を除く。)、葉身の二次色の模様(葉脈を除く。)、葉に対する花序の位置、花序の長さ(花柄を除く。)、仮雄ずいの重なり、仮雄ずいの幅(第一花を除く。)、仮雄ずいの反りの強弱、仮雄ずいの波打ちの強弱、仮雄ずいの地色、仮雄ずいのぼかしの色、仮雄ずいの炎光模様の色、仮雄ずいの斑点の色、仮雄ずいの周縁部の色、開花始期  *	一 草型及び草丈 二 球根の形、球根の大きさ、球根の色、茎の太さ、茎の色、茎の毛の多少、分枝性、節間長、葉形、葉の大きさ、葉色、葉の毛の多少及び葉柄の長さ 三 花房の形、花の向き、花形、花の大きさ、花色、花弁の形、花弁の数、がくの形、がくの大きさ、がくの色、雌雄ずいの形、雌雄ずいの色、雌雄ずいの数、やくの色、花柄の長さ、一花房の花数及び花の香り 四 開花期、耐寒性、耐暑性、繁殖性、病害抵抗性及び虫害抵抗性

そば

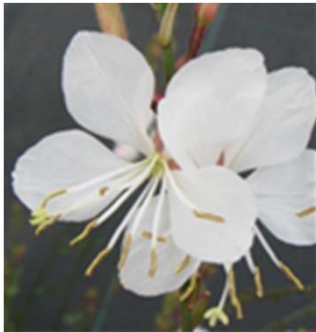
(学名: Fagopyrum esculentum Moench)

改 正 案	現 行
倍数性、子葉のアントシアニン着色の強弱、茎のアントシアニン着色の強弱、花芽のアントシアニン着色の強弱、伸育性、草丈、葉身の基部の形、葉の緑色の濃淡、花の大きさ、花弁の色、小花柄の長さ、花房の数、分枝の数、茎の長さ、茎の節数、茎の直径、子実の長さ、子実の長幅比、子実の形、乳熟後期の果皮の色、完熟粒の果皮の色、丸抜きの色、千粒重、容積重、子実の外観品質、生態型、開花始期、開花最盛期、成熟期、耐倒伏性、穂発芽性、脱粒性、ルチン含量	一 草型及び草丈、茎の形状、葉の形状、花の形状、子実の形状、子実の粒重及び子実の品質 二 生態型、熟性、分枝性、耐倒伏性、脱粒性、収量性、加工適性、製粉歩留り、食味、病害抵抗性及び虫害抵抗性 三 成分



やまももそう

(学名: Gaura L.)

改 正 案	現 行
草丈、株幅、草丈／株幅、茎の粗密、花数、茎の傾き、分枝数、葉数、葉の着生位置、新しょうのアントシアニン着色の強弱、葉の長さ、葉の幅、葉の長さ／幅、葉の最大幅の位置、葉の周縁の波打ちの強弱、葉の緑色の濃淡、葉の斑の有無、葉の斑の分布(斑のある品種に限る。)、葉の斑の割合(斑のある品種に限る。)、葉の斑の色(斑のある品種に限る。)、葉のアントシアニン着色の強弱、葉のアントシアニン着色の分布、葉のアントシアニン着色の割合、花柄のアントシアニン着色の強弱、花柄のアントシアニン着色の分布、つぼみの色、花の幅、上弁の形、上弁の長さ、上弁の幅、上弁の長さ／幅、上弁の表面の主な色、上弁の表面の二次色(脈を除く。)、上弁の表面の二次色の分布(脈を除く。)、上弁の脈の明瞭度、花柱の色、花糸の色、花色の変化 	一 草姿及び草丈 二 茎の形状及び葉の形状 三 花の形状、果実の形状(果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。)及び種子の形状(種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) 四 品質特性 五 早晚性、ねん性(不ねん現象のあるものに限る。)、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 六 前各号に掲げるもののほか、根部を利用するものにあつては根の形状、主に食用としてデンプン源、タンパク源等として使用するものにあつては収量性、台木用品種にあつては接ぎ木特性

ゆり

(学名: Lilium L.)

改 正 案	現 行
草丈、茎のアントシアニン着色の強弱、葉の数、葉序、葉の長さ、葉の幅、葉の斑の有無、葉の表面の光沢の強弱、葉の横断面の形、つぼみの主な色、花序の型、花序の花数、花序の毛の強弱、花型、花被の向き(小花柄を除く。)、花被の形(小花柄を除く。)、花の香り、花被片の長さ、花被片の幅、花被片の肋状組織の強弱、花被片の周縁の波打ちの強弱、花被片の周縁の波打ちの型、花被片の外反の強弱、花被片の中央部の主な色、花被片の基部の主な色、花被片の蜜腺に接する部分の色、花被片の先端部分の主な色、花被片の縁部の主な色、花被片の外面の主な色、花被片の蜜腺の色、花被片の乳頭突起又は斑点の数、花被片の乳頭突起又は斑点の範囲の大きさ、花被片の乳頭突起又は斑点の色、雄ずいの長さ、花糸の主な色、やくの色、花粉の色、花柱の主な色、柱頭の色、開花期	一 草型及び草丈 二 茎の太さ、茎の色、茎の毛の多少、節間長、葉序、葉形、葉の大きさ、葉色、葉の光沢、葉数、葉の着生角度、葉の毛じの多少、葉の白粉の有無、球根の形、球根の大きさ、りん片の形、りん片の色、りん片数、分球性及び珠芽着生の有無 三 つぼみの形、花の向き、花形、花の大きさ、花色、花弁の形、花弁数、雄ずいの数、花糸色、やくの大きさ、やくの色、花粉の色、花柄の長さ、花柄の太さ、花柄の色、花柄の毛の多少、一花茎の花数及び花の香り 四 開花期、地上部枯死期、病害抵抗性及び虫害抵抗性



アセロラ

(学名: *Malpighia emarginata* DC.)

改 正 案	現 行
樹姿、樹勢、枝の発生密度、節間長、枝の太さ、新しょうの毛じの粗密、葉身の長さ、葉身の長さ／幅、葉身の最大幅の位置、葉身の周縁の波打ちの強弱、葉身の先端の形、葉身の表面の緑色の濃淡、やくに対する柱頭の位置、花柱の湾曲、花卉の周縁の波打ちの強弱、花卉の桃色の濃淡、果実の長さ、果実の幅、果実の長さ／幅、果実の重さ、果実の形、果実の条溝の深さ、果頂部のくぼみの深さ、果頂部のくぼみの幅、梗あ部の深さ、梗あ部の幅、果柄の長さ、果皮の主な色、果肉の色、果実の酸味、果汁の多少、核の大きさ、核の褐色の濃淡	- 一 樹姿及び樹高 - 二 幹の形状、枝の形状及び葉の形状 - 三 花の形状、果実の形状(果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。)及び種子の形状(種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) - 四 品質特性 - 五 早晚性、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 - 六 前各号に掲げるもののほか、台木用品種にあっては、接ぎ木特性

まつよいぐさ

(学名: *Oenothera* L.)

改 正 案	現 行
草丈、茎のアントシアニン着色の強弱、茎の毛の基部のアントシアニン着色の有無、茎の毛の基部のアントシアニン着色の強弱、ロゼット葉の長さ、ロゼット葉の幅、ロゼット葉の緑色の濃淡、ロゼット葉の葉縁の波打ちの強弱、ロゼット葉の表面の凹凸の強弱、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の形、葉縁の形、葉縁の切れ込みの深さ、葉の緑色の濃淡、葉の斑の有無、葉の斑の模様(斑のある品種に限る。)、花らいの大きさ、花らいのアントシアニン着色の有無、花の大きさ、花弁の有無、花弁の先端の形、花弁の地色、花弁の模様、花弁の模様の色、花弁のしぼんだ時の地色の変化の有無、柱頭の位置、花糸の色、さく果の長さ、さく果のアントシアニン着色の有無、さく果の着生密度、抽だいの早晩、開花の早晩、昼咲き性の有無	一 草姿及び草丈 二 茎の形状及び葉の形状 三 花の形状、果実の形状(果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。)及び種子の形状(種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) 四 品質特性 五 早晩性、ねん性(不ねん現象のあるものに限る。)、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 六 前各号に掲げるもののほか、根部を利用するものにあつては根の形状、主に食用としてデンプン源、タンパク源等として使用するものにあつては収量性、台木用品種にあつては接ぎ木特性



セルリア

(学名: Serruria Salisb.)

改 正 案	現 行
樹姿、樹高、樹の幅、葉の着生密度、木質塊茎の有無、葉の向き、葉の着生角度(常に直立する葉を除く。)、葉の長さ、葉の羽状欠刻の強弱、葉の裂片の厚さ、葉の色(アントシアニンを除く。)、葉の毛の強弱、葉の裂片の先端の色、開花枝の長さ、開花枝の太さ、開花枝の毛の強弱、開花枝の主な色、開花枝の分枝の有無、開花枝当たりの頭花数(開花枝が分枝する品種に限る。)、頭花の直径、頭花のよく発達した総ほう片の有無、頭花のよく発達した総ほう片の数、総ほう片の長さ、総ほう片の幅、総ほう片の長さ／幅、総ほう片の先端の形、総ほう片の地色、総ほう片の中肋の色、小花房の直径、小花房の色、小花房の先端の形、小花ほうの色、小花ほうの縁毛の長さ、小花の花被の長さ、小花のつぼみの先端部の毛の強弱、小花のつぼみの先端部の色(毛を除く。)、小花のつぼみの先端部の下の花被の色、開花期	一 樹姿及び樹高 二 幹の形状、枝の形状及び葉の形状 三 花の形状、果実の形状(果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。)及び種子の形状(種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) 四 品質特性 五 早晚性、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 六 前各号に掲げるもののほか、台木用品種にあっては、接ぎ木特性



トレニア

(学名: Torenia L.)

改 正 案	現 行
草姿、草丈、株の幅、葉柄の長さ、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の周縁の切れ込み、葉身の周縁の切れ込みの深さ、葉身の斑の有無、花序の腋花の有無、がく裂片の数、花の長さ、花の幅、花筒の長さ、花筒の外側の色、花筒の内側の条線の強弱、花筒の内側の基部の色、花冠裂片の周縁の切れ込みの強弱、花冠裂片の色の分布の型、上部花冠裂片の波打ちの強弱、上部花冠裂片の基部の色、上部花冠裂片の先端部の色、側部花冠裂片の中央部の色、側部花冠裂片の周縁部の色、下部花冠裂片の先端部の色、下部花冠裂片のブロッチの強弱	一 草型及び草丈 二 茎の太さ、茎の色、茎の毛の多少、とげの有無、分枝性、節間長、葉序、葉形、葉の大きさ、葉色、葉の毛の多少、葉柄の太さ及び葉柄の長さ 三 花房又は花穂の形、花の向き、花形、花の大きさ、花色、花弁の形、花弁数、がくの形、がくの大きさ、がくの色、雌雄ずいの形、雌雄ずいの数、やくの色、花柄の太さ、花柄の長さ、一花房又は一花穂当たりの花数及び花の香り 四 開花期、耐寒性、耐暑性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 

フリーセア

(学名: Vriesea Lindl.)

改 正 案	現 行
葉部の高さ、株の幅、葉の数、新葉の表面の主な色(斑を除く。)、新葉の斑の有無、新葉の斑の型(斑のある品種に限る。)、新葉の二次色の模様(斑を除く。)、新葉の表面の二次色(斑を除く。)、新葉の先端部の色(主な色と異なる場合に限る。)(斑を除く。)、葉しょうの長さ、葉しょうの幅、葉身の長さ、葉身の幅、葉身の先端の形、葉身の斑の有無、葉身の表面の主な色(斑を除く。)、葉身の斑の型(斑のある品種に限る。)、葉身の二次色の模様(斑を除く。)、葉身の表面の二次色(斑を除く。)、葉身の先端部の色(主な色と異なる場合に限る。)(斑を除く。)、葉身の裏面の主な色(斑を除く。)、ほうの色、花序の位置、花序の分枝の有無、花序の分枝数、花序の向き、花序の長さ、花序の着花部の長さ、花序の幅(花序に分枝がある品種に限る。)、花穂の長さ(花序に分枝がある品種に限る。)、花穂の幅、花穂の厚さ、花穂の形、花ほうの数、花ほうの着生状態、花ほうの長さ、花ほうの幅、花ほうの先端の角度、花ほうの外面の主な色、花ほうの外面の二次色、花ほうの内面の主な色、がくの色、花弁の長さ、花弁の幅、花弁の先端の色、子房の色、花柱の色、柱頭の色	一 草型及び草丈 二 葉形、葉の大きさ、葉色、葉の光沢、葉の厚さ、葉質、葉の硬さ、葉面の白粉の程度、葉縁のとげの形状及び吸枝の発生程度 三 花穂の形、花穂の大きさ、花穂の色、ほうの毛の多少、ほうのとげの有無、花弁の形、花弁の大きさ、花弁の色、一花ほうの花数、花柄の長さ、花柄の太さ、花柄の色及び花柄の毛の多少 四 開花期、花柄の分岐性、耐寒性、繁殖性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 

3. UPOVテストガイドラインにない植物種類の審査基準の作成・改正に伴い改正を行うもの

- ① アレナリア モンタナ
- ② ファツヘデラ
- ③ ロマンドラ ロンギフォリア
- ④ しゃくやく
- ⑤ ピティロディア テルミナリス

アレナリア モンタナ

(学名: *Arenaria montana* L.)

改 正 案	現 行
草姿、草丈、株の幅、茎の長さ、茎の太さ、茎のアントシアニン着色の有無、茎の節数、葉の着生角度、葉の長さ、葉の幅、葉の形、花数、花柄の長さ、花型、花弁の向き、花の大きさ、花弁の長さ、花弁の幅、花弁の形、花弁の重なり、花弁の周縁の波打ちの有無、花弁の表面の色、花の香りの有無、開花の早晩 	- 一 草姿及び草丈 - 二 茎の形状及び葉の形状 - 三 花の形状、果実の形状(果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) 及び種子の形状(種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) - 四 品質特性 - 五 早晩性、ねん性(不ねん現象のあるものに限る。)、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 - 六 前各号に掲げるもののほか、根部を利用するものにあつては根の形状、主に食用としてデンプン源、タンパク源等として使用するものにあつては収量性、台木用品種にあつては接ぎ木特性

ファツヘデラ

(学名: × Fatshedera lizei (hort. ex Cochet) Guillaumin)

改 正 案	現 行
茎の長さ、茎の太さ、分枝性、節間長、茎の色、葉の形、葉の切れ込みの数、葉の切れ込みの深さ、葉の基部裂片全体の形、葉の側裂片全体の形、葉の頂裂片全体の形、葉の側裂片先端の形、葉の頂裂片先端の形、葉の基部の形、葉の周縁の形、葉のよじれの強弱、葉の周縁の波打ちの強弱、葉身の長さ、葉身の幅、葉の厚さ、新葉の表面の色、葉の表面の色、葉の裏面の色、葉脈の色、葉の斑の有無、葉の斑の模様(斑のある品種に限る。)、葉の斑の色数(斑のある品種に限る。)、葉の斑の主な色(斑のある品種に限る。)、葉の斑の二次色(斑のある品種に限る。)、葉の斑の色の変化性(斑のある品種に限る。)、葉の光沢の強弱、葉の毛の有無、葉柄の長さ、葉柄の上面の色、葉柄の下面の色、葉柄の毛の有無	一 樹姿及び樹高 二 幹の形状、枝の形状及び葉の形状 三 花の形状、果実の形状(果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。)及び種子の形状(種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) 四 品質特性 五 早晚性、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 六 前各号に掲げるもののほか、台木用品種にあっては、接ぎ木特性 

ロマンドラ ロンギフォリア

(学名: *Lomandra longifolia* Labill.)

改 正 案	現 行
草姿、葉部の高さ、葉群の粗密、葉の長さ、葉の幅、葉の緑色の濃淡、葉の斑の有無、葉のろう質の強弱、葉の硬さ、葉の横断面の形、葉の先端の中央突起の位置、葉の基部の縁の褐色の濃淡、花序の長さ、花穂の位置、花柄の色、花穂の長さ、ほう葉の長さ、がくの色、花冠の色 	一 草姿及び草丈 二 茎の形状及び葉の形状 三 花の形状、果実の形状(果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。)及び種子の形状(種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) 四 品質特性 五 早晚性、ねん性(不ねん現象のあるものに限る。)、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 六 前各号に掲げるもののほか、根部を利用するものにあっては根の形状、主に食用としてデンプン源、タンパク源等として使用するものにあっては収量性、台木用品種にあっては接ぎ木特性

改 正 案	現 行
ほう芽期、芽の形、芽の色、草型、草丈、茎の数、茎の太さ、節間長、分枝の多少、茎葉の毛の多少、葉の大きさ、複葉の形、頂小葉の形、葉の緑色の濃淡、葉縁の波打ちの有無、葉の光沢の強弱、葉の厚さ、葉の垂れ、抽だいの難易(薬用品種に限る。)、花首の長さ、花首の太さ、花首のアントシアニン着色の強弱、開花始めの花色、満開時の花色、花の大きさ、花の形、内弁の色(翁咲品種に限る。)、花弁数(一重・金しべ・翁咲品種を除く。)、花弁のぼかしの有無、花弁の絞りの多少、花弁先端の形、花弁の長さ、花弁の幅、雄しべの多少、雌しべの多少、雌しべの状態、柱頭の先端の形、柱頭の色、子房の毛の多少、開花期、枯れ上がり期(薬用品種に限る。)、乾燥根の重量(薬用品種に限る。)、乾燥根の横断面の色(薬用品種に限る。)、ペオニフロリン含量(薬用品種に限る。)	一 樹姿又は草型及び樹高又は草丈 二 枝又は茎の太さ、枝又は茎の色、新しょう又は茎の毛の多少、発芽期の芽の形、発芽期の芽の色、芽立ち数、分枝性、節間長、葉形、葉の大きさ、葉色、葉の光沢、葉の厚さ、葉の毛の多少及び葉の着生角度 三 花の向き、花形、花の大きさ、花色、花弁の形、花弁の大きさ、花弁数、雌雄ずいの形、雌雄ずいの色、やくの色、花首の長さ、花首の太さ及び花の香り 四 発芽期、開花期、耐暑性、病害抵抗性及び虫害抵抗性  * *

ピティロディア テルミナリス (学名: Pityrodia terminalis (Endl.) A. S. George)

改 正 案	現 行
草姿、草丈、開花枝の長さ、開花枝の太さ、節数、節間長、開花枝の毛の多少、葉の長さ、葉の幅、葉の形、葉の先端の形、葉の縦断面の形、葉の横断面の形、葉の毛の多少、着花節部の長さ、着花節数、花数、花冠の縦径、花冠の横径、花冠筒部の長さ、花冠筒部の外面の色、花冠筒部の内面の斑点の有無、花冠筒部の内面の斑点の色、花冠裂片の色、花冠裂片の模様の有無、花冠裂片の毛の多少、がくの長さ、がくのアントシアニン着色の有無、がくの毛の多少	一 樹姿及び樹高 二 幹の形状、枝の形状及び葉の形状 三 花の形状、果実の形状(果実を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。)及び種子の形状(種子を食用、加工用又は品種の識別のために利用するものに限る。) 四 品質特性 五 早晚性、環境耐性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 六 前各号に掲げるもののほか、台木用品種にあっては、接ぎ木特性



4. 1～3の改正後の運用の結果所要の修正を行うもの

- ① マーガレット
- ② えん麦
- ③ ダリア
- ④ かきのき
- ⑤ レタス
- ⑥ 稲
- ⑦ すべりひゆ
- ⑧ すもも(日本すももを除く。)
- ⑨ 小麦

マーガレット

(学名: *Argyranthemum frutescens* (L.) Sch. Bip.)

改 正 案	現 行
草型、草丈、分枝の粗密、<u>茎のアントシアニン着色の有無</u>、葉の長さ、(中略)、舌状花の表面の色の分布状態、舌状花の表面の主な色、<u>舌状花の表面の複色の色(複色品種に限る。)</u>、舌状花の裏面の主な色、花盤の直径(一重品種、半八重品種及び丁字状品種に限る。)、花盤の主な色(一重品種及び半八重品種に限る。)、<u>花盤の複色の有無(一重品種及び半八重品種に限る。)</u>、<u>花盤の複色の色(一重品種及び半八重品種に限る。)</u>、丁字状花の色(丁字状品種に限る。)、花の中心部の色(八重品種及びポンポン咲品種に限る。)、<u>花の香りの有無</u>、開花期(秋植)、開花期(夏植)	草型、草丈、分枝の粗密、<u>茎のアントシアニンの着色の有無</u>、葉の長さ、(中略)、舌状花の表面の色の分布状態、舌状花の表面の主な色、<u>舌状花の表面の複色の色</u>、舌状花の裏面の主な色、花盤の直径(一重品種、半八重品種及び丁字状品種に限る。)、花盤の主な色(一重品種及び半八重品種に限る。)、丁字状花の色(丁字状品種に限る。)、花の中心部の色(八重品種及びポンポン咲品種に限る。)、<u>花の芳香の有無</u>、開花期(秋植)、開花期(夏植)  *

えん麦

(学名: Avena sativa L.)

改 正 案	現 行
<u>草姿、最下位葉の葉しょうの毛の多少、止め葉下の葉身の周縁の毛の多少、止め葉が反曲した植物体の出現の多少、出穂期、茎の数、茎の最上節の毛の有無、茎の最上節の毛の多少、穂の分枝の向き、包穎の白粉の多少、包穎の長さ、乳熟期の第一穎果の外穎の白粉の多少、草丈、穂の長さ、原麦粒の殻の有無、第一穎果の基部の芒の着生の多少、第一穎果の外穎の長さ、原麦粒の外穎の色、第一穎果の外穎後部の毛の有無 (白、黄色種を除く。)、第一穎果の基部の毛の多少、第一穎果の基部の毛の長さ、第一穎果の小穂軸の長さ、まき性、千粒重、冠さび病抵抗性</u>	<u>草姿、最下位葉の葉しょうの毛の粗密、止め葉下の葉身の周縁の毛の粗密、止め葉が反曲した植物体の出現の多少、出穂期、茎の最上節の毛の有無、茎の最上節の毛の粗密、穂の分枝の向き、えいの白粉の多少、えいの長さ、乳熟期の内粒の外えいの白粉の多少、草丈、穂の長さ、原麦粒の殻の有無、第一えい果の基部ののぎの着生の多少、第一えい果の外えいの長さ、原麦粒の外えいの色、第一えい果の外えい後部の毛の有無 (白、黄色種を除く。)、第一えい果の基部の毛の粗密、第一えい果の基部の毛の長さ、第一えい果の小軸の長さ、まき性</u> 

ダリア

(学名: Dahlia Cav.)

改 正 案	現 行
草姿、草丈、茎の色、葉の型、葉軸の翼の強弱、葉の長さ、葉の幅、葉の長さ／幅、葉の色、葉の光沢の強弱、葉の表面のしわの強弱、<u>葉の葉脈の凹凸</u>、小葉の形、小葉の長さ、(中略)、頭花の花盤の型(一重品種及び半八重品種に限る。)、頭花の副弁の有無、<u>舌状花に対する副弁の長さ</u>、頭花の直径、頭花の高さ(八重品種及び露心する八重品種に限る。)、(中略)、舌状花の表面の色数、舌状花の表面の主な色、<u>舌状花の表面の二次色(2色以上の品種に限る。)</u>、<u>舌状花の表面の二次色の分布位置(2色以上の品種に限る。)</u>、<u>舌状花の表面の二次色の型(2色以上の品種に限る。)</u>、<u>舌状花の表面の三次色(3色以上の品種に限る。)</u>、<u>舌状花の表面の三次色の分布位置(3色以上の品種に限る。)</u>、<u>舌状花の表面の三次色の型(3色以上の品種に限る。)</u>、舌状花の表面の主な色と比較した裏面の色、(以下略)	草姿、草丈、茎の色、葉の型、葉軸の翼の強弱、葉の長さ、葉の幅、葉の長さ／幅、葉の色、葉の光沢の強弱、葉の表面のしわの強弱、<u>葉脈の隆起の高低</u>、小葉の形、小葉の長さ、(中略)、頭花の花盤の型(一重品種及び半八重品種に限る。)、頭花の副弁の有無、<u>副弁の頭花に対する長さ</u>、頭花の直径、頭花の高さ(八重品種及び露心する八重品種に限る。)、(中略)、舌状花の表面の色数、舌状花の表面の主な色、<u>舌状花の表面の二次色</u>、<u>舌状花の表面の二次色の分布位置</u>、<u>舌状花の表面の二次色の型</u>、<u>舌状花の表面の三次色</u>、<u>舌状花の表面の三次色の分布位置</u>、<u>舌状花の表面の三次色の型</u>、舌状花の表面の主な色と比較した裏面の色、(以下略) 

かきのき

(学名: Diospyros L.)

改 正 案	現 行
(略) 果実の横断面の形、果頂部の形、<u>果頂の溝</u> <u>の明瞭度</u>、<u>果頂の条紋の明瞭度</u>、<u>果頂の裂</u> <u>果性</u>、<u>果実の縦溝の深さ</u>、<u>へた部のしわの</u> <u>多少</u>、<u>ていあの側面の形</u>、<u>へた部の溝の有</u> <u>無</u>、<u>へたすき性</u>、<u>果実に対するへたの大きさ</u>、 <u>へたの姿勢</u>、<u>へた片の幅</u>、<u>果柄の長さ</u>、<u>果</u> <u>柄の太さ</u>、<u>果皮の色</u>、<u>果肉の粗密</u>、<u>果肉の</u> <u>硬さ</u>、<u>果肉の色</u>、<u>果肉の褐斑の有無</u>、<u>果肉</u> <u>の褐斑の大きさ</u>、<u>種子の大きさ</u>、<u>種子の形</u>、 <u>種子の色</u>、<u>雌花の開花期</u>、<u>ほう芽期</u>、<u>成熟</u> <u>期</u>、<u>甘渋性</u>、<u>脱渋の難易</u>	(略) 果実の横断面の形、果頂部の形、<u>果頂の溝</u> <u>の明瞭度</u>、<u>果頂の条紋の明瞭度</u>、<u>果頂の裂</u> <u>果性</u>、<u>果実の縦溝の深さ</u>、<u>へた部のしわの</u> <u>多少</u>、<u>ていあの側面の形</u>、<u>へた部の溝の有</u> <u>無</u>、<u>へたすき性</u>、<u>へたの果実に対する大きさ</u>、 <u>へたの姿勢</u>、<u>へた片の幅</u>、<u>果柄の長さ</u>、<u>果</u> <u>柄の太さ</u>、<u>果皮の色</u>、<u>果肉の色</u>、<u>果肉の褐</u> <u>斑の有無</u>、<u>果肉の褐斑の大きさ</u>、<u>種子の大</u> <u>きさ</u>、<u>種子の形</u>、<u>種子の色</u>、<u>雌花の開花期</u>、 <u>ほう芽期</u>、<u>成熟期</u>、<u>果実の渋味</u>  * *

レタス

(学名: Lactuca sativa L.)

改 正 案	現 行
種子の色、子葉の大きさ、子葉の形、胚軸のアントシアニン着色の有無、幼苗のアントシアニン着色の有無、葉の姿勢、葉身の切れ込みの型、株の幅、結球性、<u>球葉のかぶりの強弱(半結球、結球品種に限る。)</u>、球のしまり(半結球、結球品種に限る。)、球の大きさ(半結球、結球品種に限る。)、球重(半結球、結球品種に限る。)、球の基部のしまり(温室栽培のバターヘッドタイプの品種に限る。)、球の縦断面の形(半結球、結球品種に限る。)、<u>球葉数(カッティングタイプ、ステムタイプの品種を除く。)</u>、<u>総採葉数(カッティングタイプ、ステムタイプの品種に限る。)</u>、<u>茎の長さ(ステムタイプの品種に限る。)</u>、(以下略)	種子の色、子葉の大きさ、子葉の形、胚軸のアントシアニン着色の有無、幼苗のアントシアニン着色の有無、葉の姿勢、葉身の切れ込みの型、株の幅、結球性、<u>球葉のかぶりの強弱(結球品種に限る。)</u>、球のしまり(半結球、結球品種に限る。)、球の大きさ(半結球、結球品種に限る。)、球重(半結球、結球品種に限る。)、球の基部のしまり(温室栽培のバターヘッドタイプの品種に限る。)、球の縦断面の形(半結球、結球品種に限る。)、<u>球葉数(カッティングタイプの品種を除く。)</u>、<u>総採葉数(カッティングタイプの品種に限る。)</u>、<u>茎の長さ(ステムタイプの品種に限る。)</u>、(以下略) 

稲

(学名: Oryza sativa L.)

改 正 案	現 行
<u>しょう葉のアントシアニン着色の強弱</u>、基部葉の葉しょうの色、葉の緑色の濃淡、(中略)、雄性不稔性、<u>初期の外穎のキールのアントシアニン着色の強弱</u>、初期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱、初期の外穎頂部のアントシアニン着色の強弱、(中略)、後期の芒の色、<u>穂の主軸の湾曲度</u>、穂の二次枝梗の有無、穂の二次枝梗の型、(中略)、穎の模様、<u>後期の外穎のキールのアントシアニン着色の強弱</u>、後期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱、後期の外穎頂部のアントシアニン着色の強弱、護穎の長さ、護穎の色、粳の千粒重、粳の長さ、粳の幅、穎のフェノール反応の有無、<u>穎のフェノール反応による着色の濃淡</u>、玄米の千粒重、玄米の長さ、(中略)、トビイロウンカ抵抗性推定遺伝子型、<u>精玄米の心白の発現(酒米品種に限る。)</u>、<u>グルテリン含量</u>、<u>カドミウム吸収性</u>	<u>しょう葉のアントシアニンの着色の強弱</u>、基部葉の葉しょうの色、葉の緑色の濃淡、(中略)、雄性不稔性、<u>初期の外穎キールのアントシアニン着色の強弱</u>、初期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱、初期の外穎頂部のアントシアニン着色の強弱、(中略)、後期の芒の色、<u>穂の主軸の湾曲の程度</u>、穂の二次枝梗の有無、穂の二次枝梗の型、(中略)、穎の模様、<u>後期の外穎キールのアントシアニン着色の強弱</u>、後期の外穎頂部下のアントシアニン着色の強弱、後期の外穎頂部のアントシアニン着色の強弱、護穎の長さ、護穎の色、粳の千粒重、粳の長さ、粳の幅、穎のフェノール反応の有無、<u>穎のフェノール反応による着色の濃淡(フェノール反応のある品種に限る。)</u>、玄米の千粒重、玄米の長さ、(中略)、トビイロウンカ抵抗性推定遺伝子型、<u>精玄米の心白の発現の程度(酒米品種に限る。)</u>、<u>グルテリン含量</u> 

すべりひゅ

(学名: Portulaca oleracea L.)

改 正 案	現 行
草姿、草丈(草姿が半直立の品種に限る。)、株の幅、<u>茎の数</u>、<u>茎のアントシアニン着色の強弱</u>、<u>葉身の長さ</u>、<u>葉身の幅</u>、<u>葉身の形</u>、<u>葉身の緑色の濃淡</u>、<u>葉身の斑の有無</u>、<u>葉身の斑の色(斑のある品種に限る。)</u>、<u>葉身の周縁のアントシアニン着色の有無</u>、<u>葉柄の有無</u>、<u>仮雄ずいの弁化の有無</u>、<u>弁化した仮雄ずいの主な色</u>、<u>花の側面の形(弁化した仮雄ずいのない品種に限る。)</u>、<u>花の大きさ</u>、<u>花弁の長さ</u>、<u>花弁の幅</u>、<u>花弁の目の有無</u>、<u>花弁の目の色</u>、<u>花弁の色数(目を除く。)</u>、<u>花弁の主な色(目を除く。)</u>、<u>花弁の二次色(目を除く。)(2色以上の品種に限る。)</u>、<u>花弁の二次色の分布(目を除く。)(2色以上の品種に限る。)</u>、<u>花弁の三次色の分布(目を除く。)(3色以上の品種に限る。)</u>、<u>花弁の先端の切れ込みの深さ</u>、(以下略)	草姿、草丈(草姿が半直立の品種に限る。)、株の幅、<u>株の茎の数</u>、<u>茎のアントシアニン着色の強弱</u>、<u>葉身の長さ</u>、<u>葉身の幅</u>、<u>葉身の形</u>、<u>葉身の緑色の濃淡</u>、<u>葉身の斑の有無</u>、<u>葉身の斑の色(斑入り品種に限る。)</u>、<u>葉身の周縁のアントシアニン着色の有無</u>、<u>葉柄の有無</u>、<u>花の仮雄ずいの弁化の有無</u>、<u>弁化した仮雄ずいの主な色</u>、<u>花の側面の形(仮雄ずいのない品種に限る。)</u>、<u>花の大きさ</u>、<u>花弁の長さ</u>、<u>花弁の幅</u>、<u>花弁の目の有無</u>、<u>花弁の目の色</u>、<u>花弁の色数(目を除く。)</u>、<u>花弁の主な色(目を除く。)</u>、<u>花弁の二次色(目を除く。)</u>、<u>花弁の二次色の分布(目を除く。)</u>、<u>花弁の三次色の分布(目を除く。)</u>、<u>花弁の先端の切れ込みの深さ</u>、(以下略)  * *

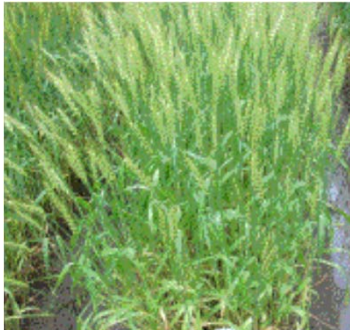
すもも(日本すももを除く。)

(学名: Prunus L.)

改 正 案	現 行
一 樹姿、樹の大きさ及び樹勢 二 枝しょうの太さ、節間長、枝しょうの色、芽の形、葉形、葉の毛じの多少、葉の大きさ、葉色及び蜜腺の形 三 花形、花の大きさ、花弁の形、花弁の大きさ、花弁の色、花弁の数、雌ずいの数、雌ずいの健否、雄ずいの色、花粉の多少、がく筒内壁の色、がくの形、がくの色及び花柄の長さ 四 果形、果実の大きさ、果皮の色、果粉の多少、果肉の色、肉質、果汁の多少、甘味、酸味、渋味、苦味、香気、核と果肉の粘離、核の形、核の大きさ、核の色及び核の紋 五 開花期、発芽期、落葉期、成熟期、結果性、果実の着色の難易、生理落果の多少、裂果性、病害抵抗性及び虫害抵抗性 六 前各号に掲げるもののほか、台木用品種にあつては接ぎ木の難易、実生のそろい、栄養繁殖の難易、接ぎ木後の樹勢、台木の根の発育、耐干性及び耐湿性	なし *

小麦

(学名: Triticum aestivum L.)

改 正 案	現 行
子葉しょうのアントシアニン着色の強弱、草姿、<u>反曲した止め葉を持つ個体の出現頻度</u>、<u>出穂期</u>、<u>止め葉の葉しょうの白粉の強弱</u>、<u>止め葉の白粉の強弱</u>、<u>穂の白粉の強弱</u>、<u>穂首の白粉の強弱</u>、草丈、<u>穂首直下の節間の髓の厚さ</u>、穂の形、粒着密度、穂の長さ、芒の有無、穂の先端の芒の長さ、穂の色、<u>穂軸の先端凸部表面の毛の多少</u>、<u>護穎の肩部の幅</u>、<u>護穎の肩部の形</u>、<u>護穎の嘴の長さ</u>、<u>護穎の嘴の形</u>、<u>護穎の内側の毛の多少</u>、原麦粒の色、原麦粒のフェノール反応による着色の濃淡、<u>まき性</u>、Glu-A1遺伝子座にある対立遺伝子の発現、Glu-B1遺伝子座にある対立遺伝子の発現、Glu-D1遺伝子座にある対立遺伝子の発現、<u>稈の長さ</u>、<u>稈の色</u>、粒の形、(以下略)	子葉しょうのアントシアニン着色の強弱、草姿、<u>反曲した止め葉を持つ個体の出現頻度</u>、<u>出穂期</u>、<u>止め葉の葉しょうの白粉の強弱</u>、<u>止め葉の白粉の強弱</u>、<u>穂の白粉の強弱</u>、<u>稈の止め葉下の白粉の強弱</u>、草丈、<u>穂首直下の節間の髓の程度</u>、穂の形、粒着密度、穂の長さ、芒の有無、穂の先端の芒の長さ、穂の色、<u>穂軸の先端凸部表面の毛の強弱</u>、<u>外穎の肩部の幅</u>、<u>外穎の肩部の形</u>、<u>外穎の嘴の長さ</u>、<u>外穎の嘴の形</u>、<u>外穎の内側の毛じの粗密</u>、原麦粒の色、原麦粒のフェノール反応による着色の濃淡、<u>播き性</u>、Glu-A1遺伝子座にある対立遺伝子の発現、Glu-B1遺伝子座にある対立遺伝子の発現、Glu-D1遺伝子座にある対立遺伝子の発現、<u>稈の長さ</u>、<u>ふの色</u>、粒の形、(以下略) 

植物写真 出典

* 印: <http://aoki2.si.gunma-u.ac.jp/BotanicalGarden/BotanicalGarden-F.html>

* * 印: <http://kusabanaph.web.fc2.com/index.html>